

はくしま

宮口慶子 様作

2007年3月15日 第55号
 発行人：尾崎 哲男
 発行：特別養護老人ホーム白島荘
 〒562-0012 箕面市白島3-5-50
 TEL：072-724-5511
 FAX：072-720-2054
 ホームページ：http://www.osj.or.jp
 メール：hakusima@hcn.zaq.ne.jp

待ちに待った春、であわね。

毎年恒例の餅つき大会が行われました。利用者の皆さんも職員も必死でお餅をつきました。おかげで、とてもおいしいお餅ができました。いやあ、良かった～!!



よっこいしょ！
杵つき、餅つき。
一緒に頑張っています。



おいしい餅になるまであとちょっと。腰を入れて力いっぱい、つきますよ。



餅つき ペったん



よく伸びてきたよ。

華の家 お正月です。御節料理を頂いています。皆元気にそろって新年のご挨拶～。



上手に出来たでしょ。





大阪空港へ飛行機を見にいって来ました

いい天候に恵まれて、飛行機も間近に見えました。

景色を見ながら、のんびりと喫茶店で過ごしました。ここで味わうコーヒーとケーキは格別～!



かつぱ寿司さんに行きました。

久しぶりににぎり寿司頂いて、美味しかった。

お寿司も茶碗蒸しも美味しかったよ。



カルフルへご飯を食べに行ってきました。



楽しかったよ～! みなさんも是非行って下さい。



ようこそ 白島荘へ

大家族でしたので、にぎやかなことが好きです。大阪生まれの吹田育ちです。

京都生れの京都育ちですが、箕面を大変気に入っています。よろしくお願い致します。

宮口 慶子様
喫茶に行ってます。トーストとコーヒーを食べていますよ。声をかけてください。

正岡 之弘様
得意な事はあんまりないけどなあ、とにかくいつも笑って、楽しむようにしています。

平尾 よし様
木村 貞子様

昨年の6月より、施設アドバイザーとして、箕面市在住の3名の方にボランティアで月2回白島荘に来ていただき、入所者の皆様から当荘での日々の生活に対するご意見やお話を聞いていただいています。

アドバイザーとは？

サービスの質の向上に関する入所者の「希望・要望」を適切に受け止め、施設との橋渡しの役割を担うと共に、助言・相談・調査や関係機関との連携により、入所者の権利を擁護することを目的としています。

これからも直しくお願ひします！

定期的な活動を通じて、利用者と「なじみ」の関係を作っていたいただき、忌憚りの無いご意見をいただく事で、利用者の皆様にとって、より質の高い満足していただけるサービスに繋げていきたいと思ひます。

アドバイザーの皆さん。お世話になります！



岡本順子様 安田順子様 中井美子様

3人で寄せてもらっています。毎回、白島荘に来て皆さんとお話することを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。

苦情連絡会議のご報告

平成18年10月以降の苦情は、特養2件・ショートステイ1件の計3件でした。

①ショートステイご利用者がベッドから転倒、右足大腿部骨折となり、そのご家族から入院後は施設から何も連絡がないし、日頃から転倒の恐れがあることを伝えていたのにこのような結果になったと苦情が寄せられる。

施設長、担当ケアマネ、介護主任で当時の状況を再度調査した上で、施設長と担当ケアマネが病院へ向かい、対応のまずさをお詫びするとともに事故前後の状況を説明させていただいて、ご家族に納得していただく。

②特養ご利用者が昼食後に体調が悪くなったのは、食事介助の方法が悪かったのではないかと、ご家族から苦情がある。

当時、嘱託医師がいたので診察の結果、食事とは無関係で一過性のものであるという診察だったので、医師、看護師から交互に説明し、介護科長からは日頃の身体状況、食事内容、離床時間などを説

明させていただき、ご家族から一応の納得を得る。

③特養に入所され間もない方から、夜間寒いので何とかして欲しいと訴えたのに対応してくれないし、トイレへ行くにもポータブルトイレを置いてくれなくナースコールで誰かを呼ばないといけない、もっと人間として扱ってほしい、自由がほしいなど苦情がある。

暖房器具は担当ケアマネがご家族から受け取り、介護職員に渡していたのに、職員間の伝達ができなかった。また対応した職員の口調が事務的で入所間もない方にはとても厳しい所と感じた様子もある。その後、ポータブルトイレについてお聞きすると「トイレまで歩けるので要らない」とおっしゃる。今後は在宅での生活様式や習慣をご家族、ご本人から確認し、まずは施設での生活に慣れていただき、職員との人間関係を築いていくためにも日常の言葉使いに充分配慮するよう職員間に周知徹底する。





青戸とめのさんが、めでたく100歳のお誕生日を迎えられました。ということで、ささやかながらケーキでお祝いをさせていただきました。いつまでも、お元気でいてください、青戸さん。



AED 設置していま〜す



AEDは、こんなものです。



当荘では、医務室にあります。

突然倒れて死に至るその原因の多くは、心室細動という心臓の病気です。心室細動がおこると一刻も早い処置が必要となります。そして、この治療に大変有効な方法として、AED（自動体外式除細動器）という装置で心臓に電気ショックをかけることが挙げられています。AEDは、現在、学校、駅など、たくさんの方が集まる公共の施設など様々な場所に設置されています。当荘においても、AEDを医務室に設置するとともに、2月8日には、消防署職員によるAED研修を行いました。

初詣



お願い

感染症予防に向けて、ご面会の際は、手洗い、うがい、および、マスク着用のご協力をお願いいたします。



お便り

梅の花がほころび春を感じる頃となり、おかげさまでインフルエンザの発生も無く穏やかに新しい年度を迎えられそうです。ただ、昨年末にノロウイルスが施設内に蔓延し、ご利用者、ご家族、その他関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたこともあり、今後も感染症防止に努めてまいりたいと思います。寒の戻りもあるようですので、皆様方も尚一層お身体にお気をつけてください。



編集後記

早いもので、もう今年度が終わろうとしています。楽しい紙面づくりを心がけてきましたが、いかがでしたでしょうか。引き続き来年度もよろしく願いいたします。

加藤・森田・真壁・中村